

理科の学習

1. 授業の流れ



博士

理科は、「身のまわりの現象の不思議」を追究する教科です。
みなさんは小さな科学者！どうしてその現象が起きているのか仮説を立て、観察や実験を行います。観察・実験の結果と考察を通して、身のまわりの不思議を解き明かしていきましょう。

課題をつかむ

・ どうしてそうなるのかな？

仮説を立てる

・ ○○ではないだろうか？

観察・実験

・ どうやったら調べられるだろうか？→調べてみよう。

結果の整理

・ データを分かりやすく整理してみよう。

考察

・ 結果から○○ということが考えられる。

まとめ

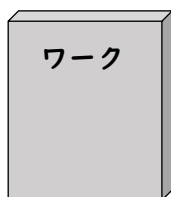
・ この授業で分かったことは何？

2. 家庭学習



家庭学習で行うのは主に3つ。

- ①授業の復習 使うもの：授業ノートや配布プリント
- ②要点のまとめ 使うもの：教科書や授業ノートや配布プリント
- ③問題演習 使うもの：ワーク、白プリント



〈ワークや白プリの上手な使い方〉

- ①問題を解く
- ②丸つけ、解き直し
- ③分からないことは解説や教科書を確認したり、先生や友人に質問したりすると good！
- ④テスト前は「まとめ直し」も効果的！



部活でなかなか時間がない…予習と復習、どっちを頑張ればいい？

復習！なぜなら、理科の授業は、前の授業で学んだことを使って考えることが多いからだ。だから、それまでの内容をしっかり覚えておくと、次の授業ももっとわかるようになるよ！



3. 授業に必要なもの

5点セット：教科書、ファイル、ノート、ワーク、資料集

4. 評価

①知識及び技能

テストや実験器具操作の様子などで評価します。

②思考力・判断力・表現力等

考察やレポート、話し合い活動や発表の様子などで評価します。

③主体的に学習に取り組む態度

授業態度や学習プリント、振り返りカードの様子などで評価します。

テストだけでなく、普段の授業の様子も評価に大きく反映されます。詳しくは授業で説明します。



5. 先輩たちの声

《授業での工夫》

2分前学習の時間では、ワークを解いたり、資料集を見て確認したりしています。

実験の目的と結果を、セットで覚えるようにしています。

文章だけでなく図や表を使って、見直しをしやすい！

Date 9.28.火

課題：水素には二酸化炭素とどのような性質のちがいがあるか。

〈仮説〉 水素は、二酸化炭素とちがって火を近づけると燃えると考えられる。また、水にはとりにくいと考えられる。

⑫ P60 〈実験方法〉

① 塩酸とマグネシウムリボンを試験管に入れて気体を発生させ、水上置換法で3〜4本集める。

② 2本目に集めた気体をよく振り、水の中を揺るとして水面の変化をみる。

③ 試験管の口にマッチの火を近づけ、どのような反応をみるか観察する。

実験は直接水筒に流さない！

水にそけるか

燃えるか

大切な用語などには、ふせんや色ペンを活用！

ノートを分割して、要点などをメモするスペースを確保！

《自主学习ノートの使い方》

教科書やワークのページ、学習した日付を記録するようにしています。

7-7 P21

①

(1) ① 種子植物 ② 被子植物

③ 裸子植物 ④ 単子葉類

⑤ 双子葉類 ⑥ 合弁花類

⑦ 離弁花類

2) ① 胚珠が子房に包まれている。

② 胚珠がむき出しになっている。

3) ① マラ、クマ、アブラ

② アサガサ、マボロ

とき直し

- ・被子植物 裸子植物
- ・裸子植物 被子植物
- ・胚珠 胚珠

注意!!

マボロは合弁花類!!

むき出しの花がたぐん集まっている!!

ワークの問題も自力で解けなかったものは、もう一度解き直しています。

テストに出そうなところはメモ！